

「のべおか子どもセンター」16年目の活動報告

九州保健福祉大学 社会福祉学研究所
松原由美 安原青児 正野知基
延岡市教育委員会 社会教育課 主査
染矢博文
延岡市教育委員会 社会教育指導員
二見 豊

はじめに

のべおか子どもセンター（以下、センター）は、延岡市教育委員会社会教育課と九州保健福祉大学 QOL 研究機構社会福祉学研究所との連携事業として実施されて、本年で12年目を迎えた。本学の連携前の聖心ウルスラ短期大学と延岡市教育委員会による設置の4年を含めると16年の活動実績がある。

子どもセンターの目的は、①主体的に生きる力を培うこと、②保護者への子育ての支援の2点である。これは、近年の少子化、核家族化、共働きの増加など、子どもたちを取りまく環境の変化によって、子どもたちに確実な学力と豊かな心をはぐくむ体験活動の重要性が求められているからであり、さらに地域における人間関係の希薄化が深まる中で、育児の孤立化が進行し、育児不安や育児ストレスが高まってきているためである。

以下にセンター16年目の取り組みと活動を、例年の項目に従い報告を行う。

1. 親子体験活動

1) 実施内容（3つの柱）と運営委員会組織

センターが実施する内容の3つの柱は、①親子体験活動、②子育て講話、③子どもと保護者のための地域情報誌の発行である。センター運営委員会は、延岡市教育委員会を事務局とし、ほとんどの外部運営委員が長年引き継がれ、本学教員が今年度は10月以降2名となり計10名で組織された。また、本学ボランティアセンターの協力により本学の学生、さらに県立門川高等学校の生徒、延岡市内の男性保育士たちの協力も得て企画運営が行われた。

2) のべおか子どもセンター活動実績

平成29年度の活動実績を表1に示した。親子体験活動の対象は、延岡市内を中心に県北地区の小学生までの子どもとその保護者である。子育て講話とは、親子体験活動が開催される際に、本学の4学部10学科に講師派遣を依頼し、それぞれの専門研究領域から保護者向けに子育てに役立つ内容で行われる30分のミニ講話である。本学教員による子育て講話は、平成22年度より実施しており、大学教員の専門的なアドバイスをもらえると毎回好評である。とくに、子どもの健康にかかわる講話だけでも参加したいという希望があるほど、センターの活動として定着している。また、子どものための情報誌「キッズワールド」は途切れることなく発刊している。

表1 平成29年度 のべおか子どもセンター活動実績

月 日	活 動 内 容	会 場
4/13(木)	第1回運営委員会	九州保健福祉大学
5/25(木)	キッズワールド55号 第1回編集会議	社会教育センター
	第2回運営委員会	

6/15(木)	キッズワールド 55 号 第 2 回編集会議	社会教育センター
6/25(日)	6 月親子体験活動「星に願いを ～七夕飾りを作って飾ろう～」	カルチャープラザ のべおか 多目的ホール
	子育て講話「“脳と心のしくみ”を活用した生きる力を育む子育て」	
	(講師：保健科学部 作業療法学科 内勢 美絵子 先生)	
6/29(木)	第 3 回運営委員会	社会教育センター
7/11(火)	キッズワールド 55 号 配付	
7/20(木)	第 4 回運営委員会	社会教育センター
8/19(土)	8 月親子体験活動「夏休みの工作 ～ステンドグラスの水族館～」	社会教育センター
	子育て講話「健やかな視機能を育むために」	
	(講師：保健科学部 視機能療法学科 田村 省悟 先生)	
8/24(木)	第 5 回運営委員会	社会教育センター
9/21(木)	第 6 回運営委員会	社会教育センター
11/4 (土) 11/5 (日)	11 月親子体験活動「九保祭を楽しもう！」 ボルダリング体験 (11/4 のみ)・ぶんぶんごま (11/5 のみ) など	九州保健福祉大学
11/7(火)	キッズワールド 56 号 第 1 回編集会議	社会教育センター
	第 7 回運営委員会	
12/5(火)	キッズワールド 56 号 配付	
12/16(土)	12 月親子体験活動「親子でペッタン！もちつき大会」	社会教育センター
	子育て講話「動物と学ぶ・動物と育む」	
	(講師：社会福祉学部 臨床福祉学科 加藤 謙介 先生)	
12/21(木)	第 8 回運営委員会	社会教育センター
1/18(木)	キッズワールド 57 号 第 1 回編集会議	社会教育センター
	第 9 回運営委員会	
本報告書を 1 月にまとめたため、2 月以降は省略		

3) 親子体験活動のイベント内容

本年度の 1 月までに行われた 4 回のイベントを写真で振り返る。

【6 月 星に願いを ～七夕飾りを作って飾ろう～】

ここ数年恒例となった親子で一緒に七夕飾りをする活動である。今年度も社会教育センターにおいて、多くの親子が参加して実施した。製作中の会話は、普段忙しくなかなか会話できないお父さんとの貴重な会話の時間でもあるようである。飾り付けの笹は、運営委員の協力により持ち

帰りも準備された。



親子での楽しい会話



お父さんの参加も増えて、一家で飾り付けを楽しんでいる様子は微笑ましい

【8月 夏休みの工作 ～ステンドグラスの水族館～】

夏休みの自由研究を兼ねて、工作を実施した。細かな箇所など子どもたち一人では難しいところは、お父さんお母さんの協力を得て作成していた。



お母さんが手伝ってくれるからできるよ！



お父さん、できたよ！！きれいだよね
本当だ、頑張って作ったものね！

【11月 九保祭を楽しもう！】

九保祭では、大学の講義室において5つの遊びの体験コーナーを設置した。講義室に入場できないほど人気があり、特にボルダリングは人気で、子どもたちは長い列ができていた。

運営委員の様々な衣装を着て子どもたちをお出迎えも好評であった。



アルミホイルでバッチを作ろう！



さかな釣り、うまく釣れたかな？



バルーンアート、割れないように・・・



ぶんぶんゴマ、うまく回せるといいね・・・



ボルダリングは、大人気！



【12月 親子でペッタン！もちつき大会】

冬季のセンターの恒例の「もちつき大会」を本年度も実施した。つきたてのおもちは、ぜひでその場でいただくだけでなく、お土産としての持ち帰りもたくさんあるので、参加者はうれしい限りである。

前日・当日の準備から片付けまで、運営委員は大活躍であった。また、運営委員から浅漬けや古漬けの差し入れもあり「おいしい」の声をたくさんいただいた。もちつきには、本学の学生や県立門川高等学校の生徒もボランティアとして参加した。



もちつきペったん ペったんもちつき



本学の学生も楽しそう！！



こうしておもちは丸めるのよ！運営委員の指導でおもちを丸めて、早く食べたいな～！

4) イベント参加状況

本年度のイベント参加人数は、表2の通りである。なお、11月は受付を実施していない。また、子どもの年齢別の集計を図1、保護者の内訳を図2に示した。

表2 親子体験活動参加人数

(単位：人)

	6月	8月	11月	12月
子ども	32	31		40
保護者	21	24		29
合計	53 (20 家族)	55 (23 家族)		69 (23 家族)

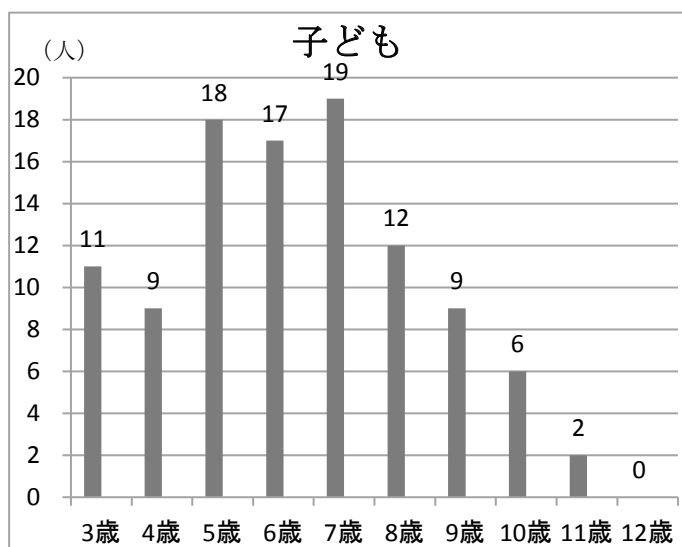


図1 参加した子どもの年齢

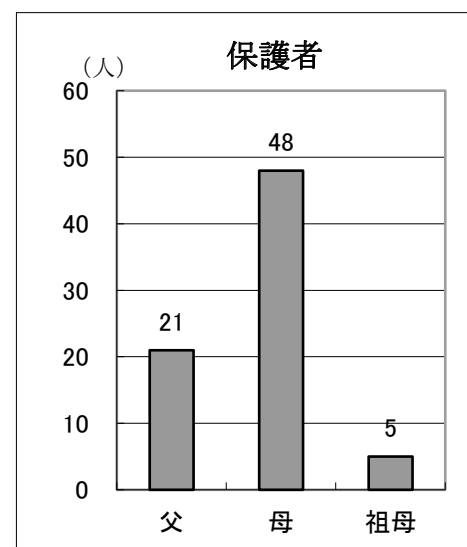


図2 保護者の内訳

5) 親子体験活動アンケート

親子体験活動（11月の「九保祭を楽しもう」は除く）のアンケート集計結果を表3に示した。

表3 親子体験活動アンケート集計

		親子体験活動アンケート集計結果																																			
平成29年度 6月～12月集計結果(11月「九保祭を楽しもう」は除く)																																					
質問①	今回の親子体験活動は、何を通じてお知りになりましたか？(複数回答有)																																				
	<table border="1"> <tr><td>イベントのチラシ</td><td>90%</td><td>57人</td></tr> <tr><td>夕刊デイリー新聞</td><td>0%</td><td>0人</td></tr> <tr><td>FMのべおか</td><td>0%</td><td>0人</td></tr> <tr><td>市のホームページ</td><td>0%</td><td>0人</td></tr> <tr><td>友人、知人</td><td>5%</td><td>3人</td></tr> <tr><td>その他</td><td>5%</td><td>3人</td></tr> <tr><td>計</td><td>100%</td><td>63人</td></tr> </table>	イベントのチラシ	90%	57人	夕刊デイリー新聞	0%	0人	FMのべおか	0%	0人	市のホームページ	0%	0人	友人、知人	5%	3人	その他	5%	3人	計	100%	63人	<table border="1"> <tr><td colspan="2">イベント参加人数</td></tr> <tr><td>大人</td><td>74人 (66家族)</td></tr> <tr><td>子ども</td><td>103人</td></tr> <tr><td>合計</td><td>177人</td></tr> </table>	イベント参加人数		大人	74人 (66家族)	子ども	103人	合計	177人						
イベントのチラシ	90%	57人																																			
夕刊デイリー新聞	0%	0人																																			
FMのべおか	0%	0人																																			
市のホームページ	0%	0人																																			
友人、知人	5%	3人																																			
その他	5%	3人																																			
計	100%	63人																																			
イベント参加人数																																					
大人	74人 (66家族)																																				
子ども	103人																																				
合計	177人																																				
質問②	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <table border="1"> <tr><td>今回が初めて</td><td>48%</td><td>30人</td></tr> <tr><td>今回で2回目</td><td>27%</td><td>17人</td></tr> <tr><td>今回で3回目</td><td>19%</td><td>12人</td></tr> <tr><td>今回で4回目</td><td>0%</td><td>0人</td></tr> <tr><td>今回で6回目</td><td>3%</td><td>2人</td></tr> <tr><td>今回で7回目</td><td>3%</td><td>2人</td></tr> <tr><td>計</td><td>100%</td><td>63人</td></tr> </table> </div> <div style="flex: 0.5; text-align: center;">↓</div> <div style="flex: 0.5;"> <table border="1"> <tr><td>アンケート回答数</td></tr> <tr><td>63</td></tr> </table> </div> </div>			今回が初めて	48%	30人	今回で2回目	27%	17人	今回で3回目	19%	12人	今回で4回目	0%	0人	今回で6回目	3%	2人	今回で7回目	3%	2人	計	100%	63人	アンケート回答数	63											
今回が初めて	48%	30人																																			
今回で2回目	27%	17人																																			
今回で3回目	19%	12人																																			
今回で4回目	0%	0人																																			
今回で6回目	3%	2人																																			
今回で7回目	3%	2人																																			
計	100%	63人																																			
アンケート回答数																																					
63																																					
質問③	今回、参加したきっかけは何ですか？(複数回答有)																																				
	<table border="1"> <tr><td>面白そうだったから</td><td>41人</td></tr> <tr><td>親子でふれあいたかったから</td><td>25人</td></tr> <tr><td>子育て講話を聞いたかったから</td><td>3人</td></tr> </table>	面白そうだったから	41人	親子でふれあいたかったから	25人	子育て講話を聞いたかったから	3人	<table border="1"> <tr><td>他の親たちと交流したかったから</td><td>1人</td></tr> <tr><td>子どもが行きたがったから</td><td>25人</td></tr> <tr><td>その他</td><td>3人</td></tr> </table>	他の親たちと交流したかったから	1人	子どもが行きたがったから	25人	その他	3人																							
面白そうだったから	41人																																				
親子でふれあいたかったから	25人																																				
子育て講話を聞いたかったから	3人																																				
他の親たちと交流したかったから	1人																																				
子どもが行きたがったから	25人																																				
その他	3人																																				
質問④	今回の親子体験活動の内容はいかがでしたか？(未回答：3)																																				
	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>満足</th> <th>どちらかといえは満足</th> <th>普通</th> <th>どちらかといえは不満足</th> <th>不満足</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>89% 54人</td> <td>8% 5人</td> <td>3% 2人</td> <td>0% 0人</td> <td>0% 0人</td> <td>100% 61人</td> </tr> <tr> <td>開始時刻</td> <td>85% 52人</td> <td>7% 4人</td> <td>8% 5人</td> <td>0% 0人</td> <td>0% 0人</td> <td>100% 61人</td> </tr> <tr> <td>活動時間の長さ</td> <td>74% 45人</td> <td>20% 12人</td> <td>3% 2人</td> <td>2% 1人</td> <td>2% 1人</td> <td>100% 61人</td> </tr> <tr> <td>スタッフの対応</td> <td>89% 54人</td> <td>10% 6人</td> <td>2% 1人</td> <td>0% 0人</td> <td>0% 0人</td> <td>100% 61人</td> </tr> </table>		満足	どちらかといえは満足	普通	どちらかといえは不満足	不満足	計	内容	89% 54人	8% 5人	3% 2人	0% 0人	0% 0人	100% 61人	開始時刻	85% 52人	7% 4人	8% 5人	0% 0人	0% 0人	100% 61人	活動時間の長さ	74% 45人	20% 12人	3% 2人	2% 1人	2% 1人	100% 61人	スタッフの対応	89% 54人	10% 6人	2% 1人	0% 0人	0% 0人	100% 61人	
	満足	どちらかといえは満足	普通	どちらかといえは不満足	不満足	計																															
内容	89% 54人	8% 5人	3% 2人	0% 0人	0% 0人	100% 61人																															
開始時刻	85% 52人	7% 4人	8% 5人	0% 0人	0% 0人	100% 61人																															
活動時間の長さ	74% 45人	20% 12人	3% 2人	2% 1人	2% 1人	100% 61人																															
スタッフの対応	89% 54人	10% 6人	2% 1人	0% 0人	0% 0人	100% 61人																															
質問⑤	子どもセンター以外で行われている、子どもとふれあう体験活動に参加したことがありますか？(未回答あり)																																				
	<table border="1"> <tr><td>ある</td><td>30% 18人</td></tr> <tr><td>ない</td><td>70% 43人</td></tr> <tr><td>計</td><td>100% 61人</td></tr> </table>	ある	30% 18人	ない	70% 43人	計	100% 61人	ある場合、活動名 → 森のようちえん、まちなかカヌー、エコチルイベント、むかばき山楽隊、リトミックイベント、ばばパーク、むかばきフェスティバル、はらはらわくわく体験隊、むしむしキャンプ、スキー、地区BW/L																													
ある	30% 18人																																				
ない	70% 43人																																				
計	100% 61人																																				
質問⑥	土曜日と日曜日のどちらが参加しやすいですか？(未回答あり)																																				
	<table border="1"> <tr><td>土曜日の方が参加しやすい</td><td>41% 26人</td></tr> <tr><td>日曜日の方が参加しやすい</td><td>17% 11人</td></tr> <tr><td>どちらでもよい</td><td>41% 26人</td></tr> <tr><td>計</td><td>100% 63人</td></tr> </table>	土曜日の方が参加しやすい	41% 26人	日曜日の方が参加しやすい	17% 11人	どちらでもよい	41% 26人	計	100% 63人																												
土曜日の方が参加しやすい	41% 26人																																				
日曜日の方が参加しやすい	17% 11人																																				
どちらでもよい	41% 26人																																				
計	100% 63人																																				
質問⑦	今後、どのような親子体験活動を希望されますか？(複数回答有)																																				
	<table border="1"> <tr><td>親子クッキング</td><td>37人</td></tr> <tr><td>工作</td><td>37人</td></tr> <tr><td>自然体験</td><td>26人</td></tr> <tr><td>父親参加型の活動</td><td>2人</td></tr> <tr><td>音楽・リズム</td><td>19人</td></tr> </table>	親子クッキング	37人	工作	37人	自然体験	26人	父親参加型の活動	2人	音楽・リズム	19人	<table border="1"> <tr><td>運動遊び</td><td>25人</td></tr> <tr><td>レクリエーション・ゲーム</td><td>18人</td></tr> <tr><td>地域に出かける活動</td><td>6人</td></tr> <tr><td>伝統的な活動</td><td>7人</td></tr> <tr><td>その他 ※</td><td>0人</td></tr> </table>	運動遊び	25人	レクリエーション・ゲーム	18人	地域に出かける活動	6人	伝統的な活動	7人	その他 ※	0人															
親子クッキング	37人																																				
工作	37人																																				
自然体験	26人																																				
父親参加型の活動	2人																																				
音楽・リズム	19人																																				
運動遊び	25人																																				
レクリエーション・ゲーム	18人																																				
地域に出かける活動	6人																																				
伝統的な活動	7人																																				
その他 ※	0人																																				
	※プログラミング、消防署見学、昆虫採取(セミ、カブトムシ)																																				

質問⑧	のべおか子どもセンターへの、ご要望、ご感想、ご相談したいことなど、ご自由にお書きください。
【6月 星に願いを ～七夕飾りを作って飾ろう～】	
クリスマスツリーの飾りつけ等も楽しそうだなあ……	
今日はありがとうございました。楽しかったです。	
こういうイベントがたくさんあるとうれしいです。	
周りに先生方がいらっしゃったのでお手本にして、学生さんは子ども達と積極的に交流して欲しかったです。	
丁寧に対応していただき、ありがとうございました。	
ゆっくり親子で作品作りにとりくめ、楽しかったです。スタッフの皆さんありがとうございました。	
とても楽しかったです。みなさん親切にして下さり、本当にありがとうございました。去年は定員オーバーで来ることができなかったのも、本当によかったです。	
今回、初めからグループに分かれていたのはとても良かったです。だけど 1テーブルに1つしかのりがなかったのも、動きが止まってしまって残念だったので、2つは欲しかったです。	
【8月 夏休みの工作 ～スタンドグラスの水族館～】	
とても楽しかったです。仕事している毎日でしたが、親子で工作するきっかけになりました。	
今回はじめて参加させていただきましたが、また次回も参加したいと思いました。	
とても楽しかったです。	
以前、親子クッキングに当選したのに中止になってしまい、参加できませんでした。次回も楽しみにしています。	
海の生き物をたくさん作って貼るのがとても楽しかったようです。	
とても楽しい時間でした。(子どもが)意外にモクモクして(黙々と取り組んで)くれてよかったです。	
【12月 親子でペッタン！もちつき大会】	
子どもも楽しく参加でき、貴重な体験ができ、良かったです。ありがとうございました。ぜんざいがとてもおいしかったもちつきは子どもが大変楽しみにしていたので、このような機会がもてて、とてもよかったです。	
今年は、きなこなどなくて少し残念でした。でもたのしかったです。	
もちつき大会毎年楽しみに参加させていただいています。試食のおもちがぜんざいだけになり残念です。	
できれば参加無料にしてほしいです。	
楽しかったです。ありがとうございました。	
子とふれあうイベントを開いてくださってありがとうございました。次は親子クッキングや自然体験等をしたいです。	
とても楽しかったです。	
これからもぜひもちつき大会は続けてほしいです。子どもがすごく楽しみにしているので。	
昨年も参加させていただき、とても楽しかったです。また来年も是非開催を希望します。	
活動やイベントを知る機会がもっとあると良いと思います(メルマガなど)。父親は普段なかなかイベントを知るタイミングがないので。	
餅をつくときにスタッフの方から、「たかし」、「さとし」と優しく楽しく声援を送って頂きありがとうございました。笑顔が沢山でした。	
今のままで充分です。ありがとうございました。	
とても楽しいもちつきでした。スタッフの方たちもやさしく教えてくれて、子どもも喜んでいました。色々な活動があるようなので、また参加したいと思います。ありがとうございました。	

2. 子育て講話

1) 子育て講話の意義と実施状況

延岡市には、行政や民間が主催する子育て支援は多数存在する。しかし、本学の専門性を生かして定期的に開催する子育て講話は、センター独自の取り組みである。4 学部の持つ先端の学術研究を地域に還元する意義は大きい。幼児から小学生の子どもを対象として実施しており、参加いただく保護者にとって、貴重な 30 分となっていることを期待するものである。

本年度に実施した子育て講話のテーマは表 1 に示した。担当いただいた教員は、保健科学部作業療法学科・内勢美絵子先生、保健科学部視機能療法学科・田村省悟先生、社会福祉学部臨床福祉学科・加藤謙介先生である。毎年度のことであるが、本学各学部各学科にはセンターの活動に対するご理解とご協力をいただき、紙面を借りて感謝申し上げる次第である。

2) 子育て講話アンケート

子育て講話においても毎回アンケートを実施し、保護者からの意見を調査しているのです、その結果も表4にて紹介する。

表4 子育て講話アンケート集計

子育て講話 アンケート集計結果（平成29年6月～12月）

質問① これまでに、子どもセンターの子育て講話に参加したことはありますか？

今回が初めて	51%	22人
今回で2回目	26%	11人
今回で3回目	12%	5人
今回で4回目	2%	1人
今回で5回目	0%	0人
今回で6回目	0%	0人
今回で7回目以上	2%	1人
回数不明	7%	3人
計	100%	43人

講話参加人数	
母親	30人
父親	13人
祖母	2人
合計	45人

アンケート回答数
43

質問② 今回の子育て講話の内容はいかがでしたか？

	満足	どちらかといえは満足	普通	どちらかといえは不満足	不満足	未記入	計
講話の内容	60% 26人	28% 12人	9% 4人	0% 0人	0% 0人	2% 1人	100% 43人



内勢美絵子先生の講話の様子



田村省悟先生の講話中の様子

【内勢美絵子先生の講話後アンケート】

なんとなく色々な情報の中で、こうだと大事にしている理念と脳の働きから見る視点とを比べることができ、コントロールする（心も体も）方法が見つかったように思います。

少しむずかしいところもありましたが、ありのままの自分と子どもを受けとめていくようにしたいです。ありがとうございました。

ありのままの子どもを受け入れてあげながら、子育てをしたいと思った。

とても考えさせられました。自己肯定感・・・難しいですね。
育っていない子や自分にどう対応したらよいのだろう…と考えさせられました。

ついなにかしなさいと言いがちなので、気をつけようとあらためて思いました。
そう言いがちな自分を見つめてみるいい機会を得ました。

子どもをほめて育てるためには、自分を肯定することが大切だということにはっとさせられました。

こうしなさいなどはよく言っているので、なるべく本人に決めさせるように持っていきたいです。ネガティブ志向に子どもがならないようにしたいです。

脳と子育ての関係のことがわかりました。勉強になりました。ありがとうございます。

子育てにいかしていきます。ありがとうございます。

『脳』をバラ色にして、判断・行動・結果を変えていきたいです。思い込みが違う行動にぼーっとしているときは脳が休んでいる時だと思っていました！
ありのままの子どもを大切にしていきたいです。子育てについて分からないことばかりですので、何でもうれしいです。ありがとうございました。

とても勉強になりました。ありのままの自分を受け入れて、これからの子育てに参考にさせていただきたいと思います。ありがとうございました。

以前、子どもは「ぼおっとする権利がある」と聞いたことを思い出しました。

【田村省悟先生の講話後のアンケート】

眼科へ行く機会があまりないので、勉強になりました。

分かりやすかったです。とても勉強になりました。

分かりやすくお話しして頂き、ありがとうございました。

見逃しやすいサインを分かりやすく説明して頂き、ありがとうございました。

もっと長く詳しく聞きたかったです。

生活習慣に関するアドバイスの内容があるのかなと思っていました。（募集チラシのタイトルが「健やかな視機能を育むために」だったので、生活習慣に関する内容と解釈されたか？）

※講話終了後、検眼器による目の検診を希望者に対し行なっていただき、子ども数人と親も申し出、丁寧に診ていただき好評であった。

【加藤謙介先生の講話アンケート】

野良犬に対する対応がすごくタメになりました。すぐに子どもに教えようと思います。
時間が短かったので、もう少し話を聞きたかった。 ちょっとした動物との接し方や動物園に行くことの意義等とても参考になった。
とても楽しく聞くことができました。
絵本の紹介をしていただけたのが良かったです。 犬、猫を飼った時の子どもに対する影響をもっと具体的に知って参考にしたいと思いました。
動物との関わりの中で、親が正しい知識を持つこと、積極的に行動することが分かり、勉強になりました。
ハムスターが先日死んで、中学生と小学生の子ども達が号泣しました。子ども達にとってハムスターの存在が大きかったんだと、その時実感しました。その時の声かけをどうしたら良いのか私も考えるできごとでした。講話を聞くことができて良かったです。
現在、自宅で犬を2頭飼っていますが、子どもの教育の面でも動物を養うという事は大切な事だとは理解していましたが、1頭は老犬です。いずれ旅立つ時が来ます。その時にしっかり子どもに話が出来るよう自分なりに考えておこうと思いました。
動物、犬への接し方を子どもにきちんと説明したことがなく、接する機会もすごく少ないという現状ですので、改めてきちんと説明する気持ちになりました。食肉でも私の料理中に不思議がる様子がみられたので、親の説明法が大切だと気付きました。
時間が短かった。先生の実体験をもう少し聴きたかったです。絵本は早速一緒に読んでみようと思います。タイプ別の動物の対応の説明で判りやすかったです。
犬を飼っていますが、自分がお姉ちゃんのようにおこったり、遊んだりしています。 動物は好きなので、他の動物にふれ合うことがあれば、今日聞いた話を思い出しながら、話してみようと思います。
30分の時間では、ゆっくり、よりくわしく講話を聴く事ができなかった為、1時間程時間を取って頂きたかったです。講話はとても面白く、掘り下げたお話をもっと聞きたかったです。
動物との「付き合い方」・動物との「関係性」の部分がとてもおもしろかった。 もっと子どもと動物との関わりについて詳しく知りたいと思った。



加藤謙介先生の講話の様子

3. 子どもと保護者のための地域情報誌「キッズワールド」の編集と発行

本年度も7月・12月・3月（発行予定）にキッズワールドを発行した。発行までは、毎号2回ほどの編集会議を開催し、テーマおよび執筆者の選定、発行日からの日程調整、業者打ち合わせを行い、発行に至っている。なかでも親子クッキングの記事は、親子で作るおやつとして、自宅に買い置きしている食材で簡単に作れるということで大変好評である。

発行された13,000部のキッズワールドは、小学校、市立図書館（分所含む）、幼稚園、市立図書館・分館、公民館、児童館、リバーパル五ヶ瀬川、九州保健福祉大学（子どもセンター）、認定こども園各園、ボーイスカウト、おやこの森、さくら園、県生涯学習課、小児科等、子どもが集う場所に配布している（表5）。

表5 キッズワールド配布先一覧

学校・幼稚園			社会教育施設・団体	
	小学校 27	6,860	社会教育センター	30
	尚学館小学校	120	市立図書館	30
	幼稚園(公立)2	80	市立図書館・北方分館	30
	幼稚園(法人)1	50	市立図書館・北浦分館	30
	幼稚園(私立)4	350	北浦公民館	30
児童福祉施設			市立図書館・北川分館	30
	山下児童館	30	一ヶ岡コミュニティーセンター	30
	中島児童館	30	塩浜教育集会所	30
	旭児童館	30	リバーパル五ヶ瀬川	50
	緑ヶ丘児童館	30	九保大(子どもセンター)	240
	ゆりかご児童館	30	子どもセンター運営委員	10
	こばと児童館	30	ボーイスカウト	30
	ひかり児童館	30	宮崎県	
	認可保育所・認定こども園43	2,820	県生涯学習課	2
	おやこの森	30	北部教育事務所	15
	さくら園	30	市役所	
	許可外保育施設12	482	東海支所	30
病院等			伊形支所	30
	育児サークル(社協内)	30	島浦支所	30
	おきしま小児科	30	南浦支所	10
	藤本内科小児科医院	30	北方町総合支所	30
	ほうしやま子どもクリニック	30	北浦町総合支所	30
	県立延岡病院内 キッズルームおひさま	30	北川町総合支所	30
	松崎医院	30	本庁舎総合案内	30
施設等			各課室	62
	ヘルストピア	30	健康管理センター	30
	延岡総合文化センター	30	記者室	14
	延岡セントラル	30	その他	
	須美江家族旅行村	30	予備	665
	ETOランド速日の峰	30		
	むかばき青少年自然の家	30		
	おやこ劇場	30	合計	13,000

おわりに

ここまでセンターの本年度の活動を振り返ってきたが、最後にセンターの次年度の活動に向けた課題を述べて、本報告のまとめとする。

学校週 5 日制の受け皿として発足した「のべおか子どもセンター」も 16 年を迎えた。その間にも子どもを取り巻く社会環境に大きな変化が生じている。その代表的なこととして、学校教育における土曜日授業の再開がある。これに伴い、毎月 1 回開催していたイベントが、今年度は年に 4 回の開催にとどまることとなった。また、同時に開催していた子育て講話も 3 回しか実施できなかった。その他の社会環境の変化に目を移すと、女性の社会進出・積極的登用が言われてはいるものの、子どもを産み育てる環境の整備は進まず、少子化は加速する一方である。さらに、核家族化、地域のコミュニケーションの希薄化等も進み、求められる子育て支援の内容が大きく変化してきている。このような中、平成 27 年度から「子ども・子育て新制度」が市町村を実施主体としてスタートする等、教育・子育て支援制度にも急激な変化が起こっている。急激に変化する教育・子育て支援制度や家庭・地域環境を背景として、「のべおか子どもセンター」はどのような方向性を持ち、どのような取り組みを行っていけばよいのか、あらためて考え直さなければならない時期に来ていると言えるだろう。そのひとつとして、内閣府の 2012 年度版「子ども・子育て白書」にもあるように、「のべおか子どもセンター」においても、今以上に子育て支援のコーディネーターとしての機能を果たしていく必要性を認識せざるを得ない。子どもへの支援に加えて、親への子育て支援のウェイトを今よりも増していく必要がある。そのためには、保護者が「のべおか子どもセンター」に何を求めているのか、そのニーズを把握していかなければならない。その上で何ができるのかを考え、体制を整え、企画し、実施していくことになる。

しかし残念なことに、支援のためのボランティア活動の中心となっていた学生が所属する子ども保育福祉学科が募集停止となり、次年度で最終学年が卒業する。今後、マンパワーの面からも支援体制をどのように構築していくのかを考えなければならない。本学の卒業生が在籍する延岡市の男性保育士の集まりである「男星保育士団」の協力を今まで以上に得られるようにしていくのも一つであろう。地域に必要とされ、地域に根差した活動を継続させていくためには、とにかく知恵を絞り、様々な工夫が必要である。

謝辞

例年のことながら事務局を担う延岡市教育委員会、また施設の活用や子育て講話の講師派遣等に積極的に協力いただいた九州保健福祉大学、各学部と各学科、そしてセンターに協力いただく地域の様々な団体や個人の皆様に厚く御礼申し上げます。また年間を通して夜間に及ぶ会議を重ね、企画・運営に携わる運営委員の皆さん、毎回活動に参加してくれる保護者や子どもたちなど、多くの方々の思いと行動によって、本年度もセンターの活動が充実したものとなりました。ここにあらためて感謝申し上げます。